

清泉女子大学の財務報告

平成 21 年度決算の概要

学校法人会計基準では、会計年度の終了時に「資金収支計算書」「消費収支計算書」及び「貸借対照表」を作成することが必要とされています。

このうち「消費収支計算書」は、当該会計年度の収入と支出の内容および均衡の状況を明らかにすることにより、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを判断できる有力な材料となりうることから、本報告も当該計算書を中心に説明することにします。

消費収支計算書の概要

(1) 消費収入の部

学生生徒等納付金の他、期中本法人の総収入に当る帰属収入合計は、28 億 595 万 6 千円で、これから基本金組入額 9 億 2,934 万 2 千円を差し引いた消費支出に充当しうる資金としての消費収入の部合計は 18 億 7,661 万 4 千円となりました。

予算との対比では、帰属収入合計が 1 億 2,428 万 7 千円増加し、一方基本金組入額合計は、2,178 万 1 千円減少したことにより、消費収入の部合計は予算比 1 億 4,606 万 8 千円増加しました。

消費収入の部の科目別では、学生生徒等納付金が予算比 2,449 万 6 千円増加しました。手数料は、学部の入学志願者の増加により入学検定料等が予算比 1,323 万 6 千円増加しました。寄付金は学園募金等の減少により予算比 102 万 9 千円減少しました。

補助金は、国庫補助金の内本館耐震関係の補助金が増額されたことにより予算比 9,361 万 2 千円増加しました。資産運用収入は金利の低下等により予算比 119 万円減少しました。事業収入は、ラファエラがミアの公開講座収入は予算比増加しましたが、日本文化・日本語講座が新型インフルエンザの影響で中止になったことなどにより予算比 287 万 2 千円減少しました。

(2) 消費支出の部

人件費及び教育研究経費・管理経費を主とした消費支出の部合計は 23 億 6,641 万円で予算比 9,459 万 5 千円の減少となりました。人件費は予算比 1,607 万 5 千円減少しました。教育研究経費・管理経費の科目別では、旅費交通費、通信運搬費、印刷製本費、賃借料など諸経費の支出の圧縮に努めた結果教育研究経費で 3,140 万 1 千円、管理経費で 2,118 万 8 千円減少しました。借入金等利息は日本私学振興共済事業団からの借入金の利息分です。資産処分差額は図書を除却分です。なお、今年度は、予備費 3,000 万円は使用しておりません。

(3) 消費収支戻

消費収入の部合計から消費支出の部合計を差し引いた当年度の消費収支差額はマイナス4億8,979万6千円となりました。この結果、前年度の繰越消費支出超過額15億6,276万9千円を加えた翌年度繰越消費支出超過額は20億5,256万5千円となりました。

予算との対比では消費収入が増加したうえに、消費支出の減少もあり2億4,066万3千円改善しました。

(4) 基本金組入

平成21年度決算の基本金組入の内容について説明します。

基本金とは学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして定義されています。

当期の基本金組入額合計は、9億2,934万2千円となりました。この内訳は、第1号基本金組入額8億2,136万3千円、第2号基本金組入額1億円及び第3号基本金組入額797万9千円となっています。

第1号基本金組入額は、本館耐震関係等の工事費や図書費の他、日本私学振興共済事業団からの借入金返済分等を組入れています。また、第2号基本金への組入れは、1号館校舎建替え資金への組入れであり、第3号基本金への組入れは、学生厚生基金（奨学基金）、教育研究助成基金及び国際交流基金への組入れとなっています。

資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度の教育・研究その他の活動に対応するすべての収入・支出の内容並びに支払資金のてん末を明らかにしたものです。

当該年度の収入の部合計は、前期繰越支払資金28億1,353万円を含めて62億4,299万7千円となり予算比1億1,298万6千円の収入減になりました。一方、当該年度の支出額の合計は、37億672万3千円となり予算比2億3,999万9千円の支出減になりました。

この結果、次年度繰越支払資金は、25億3,627万4千円となり予算比1億2,701万3千円増になりました。

貸借対照表の概要

平成22年3月31日現在の総資産は112億5,984万9千円で前年度末比3億3,308万8千円増加しました。

一方総負債は14億3,568万1千円で前年度末比1億645万7千円減少しました。

この結果、純資産（総資産－総負債）は98億2,416万8千円となりました。

覧下さい。